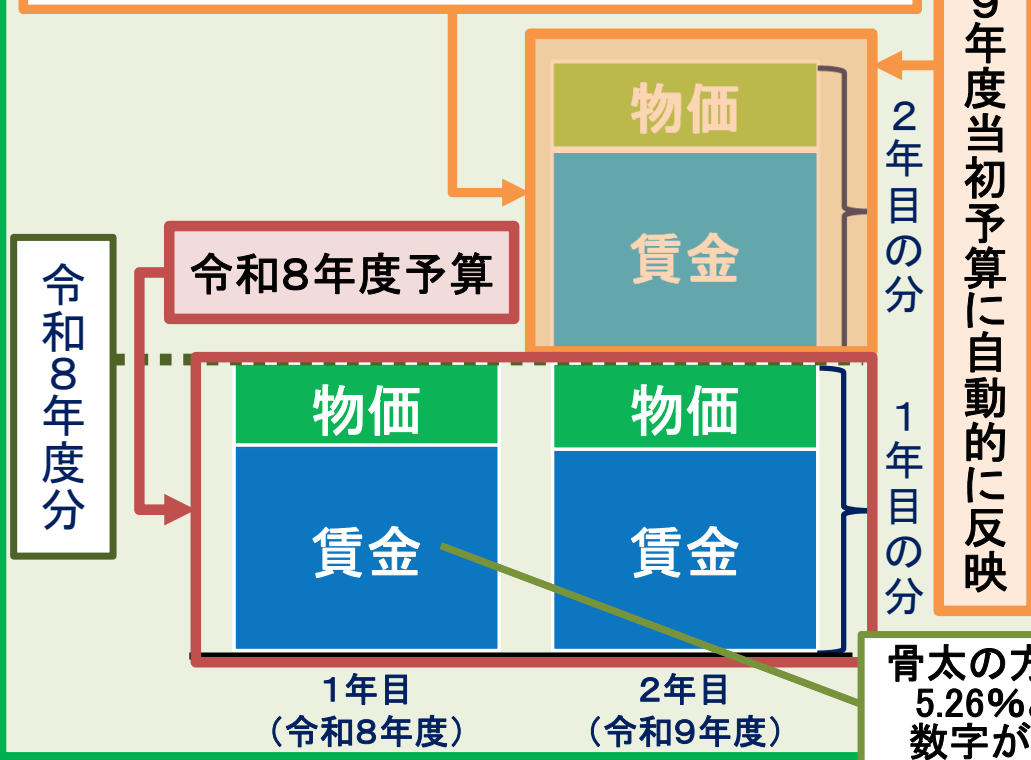


インフレ下における賃金・物価上昇への次期診療報酬改定での対応

2年目の分を2年目に確実に上乗せする改定

現実的

2年目の分は物価・賃金それぞれ基本診療料を中心に機動的に上乗せする新たな仕組みを導入し明確化

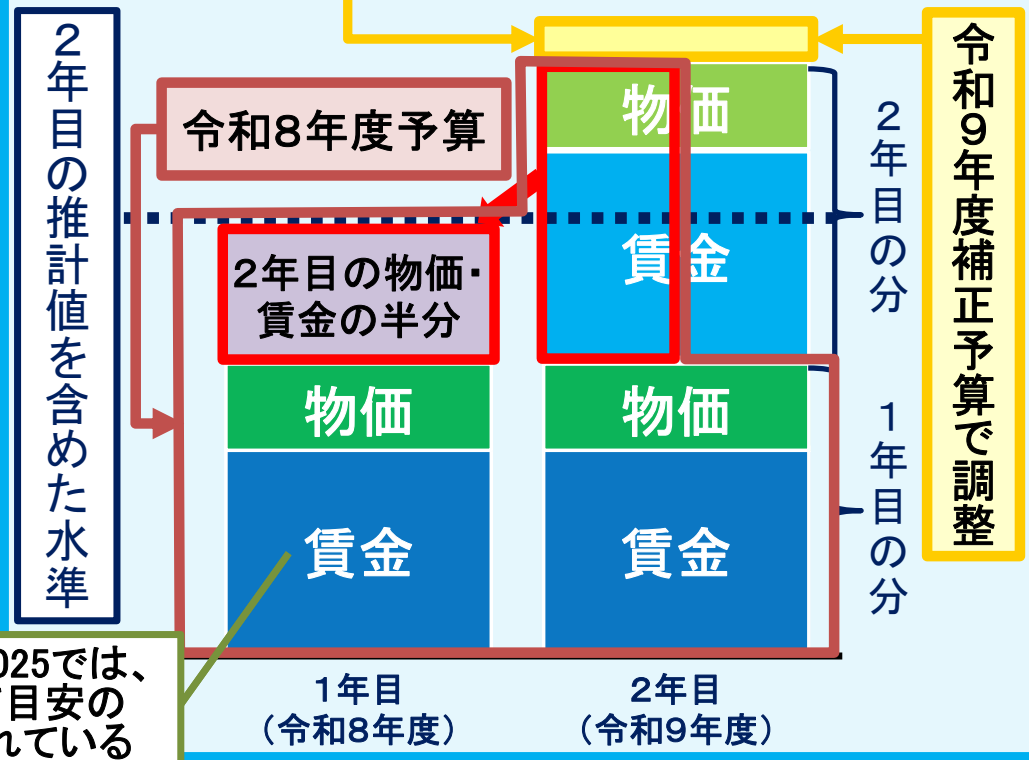


骨太の方針2025では、5.26%として目安の数字が示されている

次の改定までの2年間でしっかりとみた改定水準

理想的

2年目は実調の調査から3年間ずれることから、物価・賃金が大きく上昇した場合には、それに応じて適切に対応する新たな仕組みの導入の検討を明確化



「次の改定までの2年間でしっかりとみた改定水準」が望ましく理想的であるが、2年目の予算を先取りすること等もあり、「2年目の分を2年目に確実に上乗せする改定」が現実的である。
2年目(令和9年度予算)での対応とする場合、大臣折衝事項等でしっかりと明確化して対応を行うべき。

※高齢化・高度化への対応は別途必要